



# 平成21年3月期 決算

平成20年4月1日～平成21年3月31日  
- 補足資料 -

平成21年5月12日(火)  
デジタルアーツ株式会社

# 売上区分変更について

---

*DigitalArts.*

# 売上区分変更について

- 売上を「ソフトウェア部分」と「保守サポート部分」で区別して計上しております。
  - ソフトウェア部分と保守サポート部分を区別して顧客に提供する体制が整ったことによります。
  - 平成20年3月期より開始し、平成21年3月期から本格的に通年での適用となります。
  
- 詳細
  - ソフトウェア部分の売上は、従来通り**販売した時点で売上計上**。
  - 保守サポート部分の売上は、**契約月数で案分し売上計上**。

販売時点では売上計上せず、製品利用契約期間で案分し、月単位で順次売上計上していく。

なお、当期の売上高に計上されない保守サポート部分は、貸借対照表負債の部の流動負債「その他」に区分計上されている。

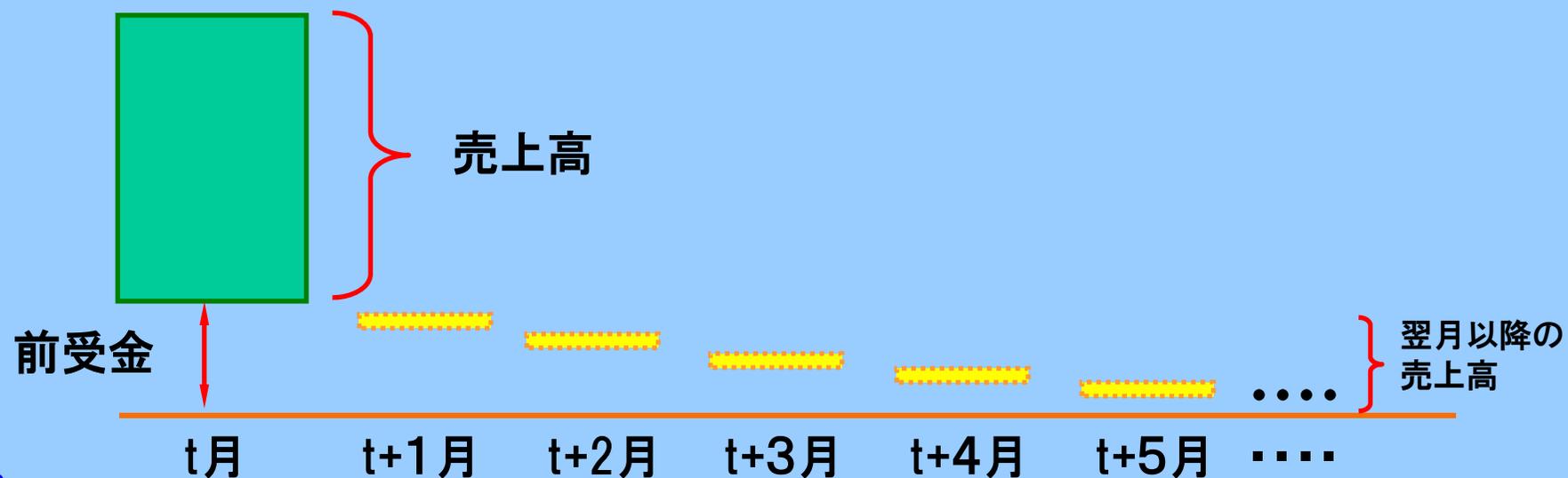
※「その他」には、通常の間接経費などの未払金が含まれている。
  
- 平成21年3月期は本格的にこの会計区分変更が適用となるため、**販売済の保守サポート部分については、販売時点での売上計上はされず、同額が将来の売上を増加させる**。

# 売上区分変更による計上方法について(図説)

## 売上区分開始前



## 売上区分開始後



# 平成21年3月期 通期決算サマリー

<平成20年4月1日～平成21年3月31日>

---

DigitalArts.

# 平成21年3月期 通期決算ハイライト

## ➤ 企業向け市場

- 景気の影響はあるものの、閲覧制限にとどまらず**内部統制や情報漏洩対策への関心は継続的に高い**
- 市場のニーズに一層対応した、「**i-FILTER Ver.7**」と「**m-FILTER Ver.2.5**」の発売開始
  - アクセスログの分析・保管の面で「i-FILTER」の販売が順調に推移
  - 誤送信防止機能・データコンバート機能の追加、アーカイブ機能の簡略化を実現した「m-FILTER Ver.2.5」も好評

## ➤ 公共向け市場

- セキュリティ対策が未整備な教育機関への販売を継続
- IT化を進め、情報漏洩対策に積極的な**地方自治体や官公庁への販売を推進**

## ➤ 家庭向け市場

- インターネットの不適切な利用による未成年者に関する犯罪の発生は増加
- 政府の**フィルタリングを主軸とした有害情報対策の取り組みの強化や法律の成立**
- 平成20年2月に大幅に機能を強化した「i-フィルター 5.0」は、法律成立も相まって、大手家電量販店などの店頭での販売が好調に推移
- ISPも、キャンペーン効果などによりWebフィルタリングサービス加入者が増加

# 平成21年3月期 通期決算サマリー(連結P/L)

平成21年3月期通期連結売上高(保守サポート売上高区分後)は、**18億5千2百万円**(対前年同期増減率約9%)、経常利益は**6億3千2百万円**(対前年同期増減率約2%)となりました。

(単位:百万円)

連結	平成20年3月期		平成21年3月期			
	通期(実)		通期(実)			
	保守サポート売上高 区分前	保守サポート売上高 区分後	保守サポート売上高 区分前	対前年同期 増減率	保守サポート売上高 区分後	対前年同期 増減率
売上高	1,754	1,700	2,013	14.8%	1,852	8.9%
営業利益	676	622	790	16.8%	629	1.1%
経常利益	676	623	793	17.3%	632	1.5%
当期純利益	403	349	511	26.8%	350	0.3%

注:保守サポート売上高区分前の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はプロフォーマベースのものです。  
税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※ 保守サポート売上高区分前:販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後:保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

## 参考)平成21年3月期 通期決算サマリー(単体P/L)

平成21年3月期通期単体売上高(保守サポート売上高区分後)は、  
**18億5百万円**(対前年同期増減率約9%)、**経常利益は6億6千4百万円**(対前年同期増減率約1%)  
 となりました。

(単位:百万円)

単体	平成20年3月期		平成21年3月期			
	通期(実)		通期(実)			
	保守サポート売上高 区分前	保守サポート売上高 区分後	保守サポート売上高 区分前	対前年同期 増減率	保守サポート売上高 区分後	対前年同期 増減率
売上高	1,702	1,650	1,960	15.1%	1,805	9.4%
営業利益	704	652	815	15.7%	660	1.3%
経常利益	711	659	819	15.2%	664	0.8%
当期純利益	438	385	544	24.2%	389	0.9%

注:保守サポート売上高区分前の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はプロフォーマベースのものです。  
 税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※ 保守サポート売上高区分前:販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後:保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

# 平成21年3月期 通期市場別売上高(連結) -売上高区分前-

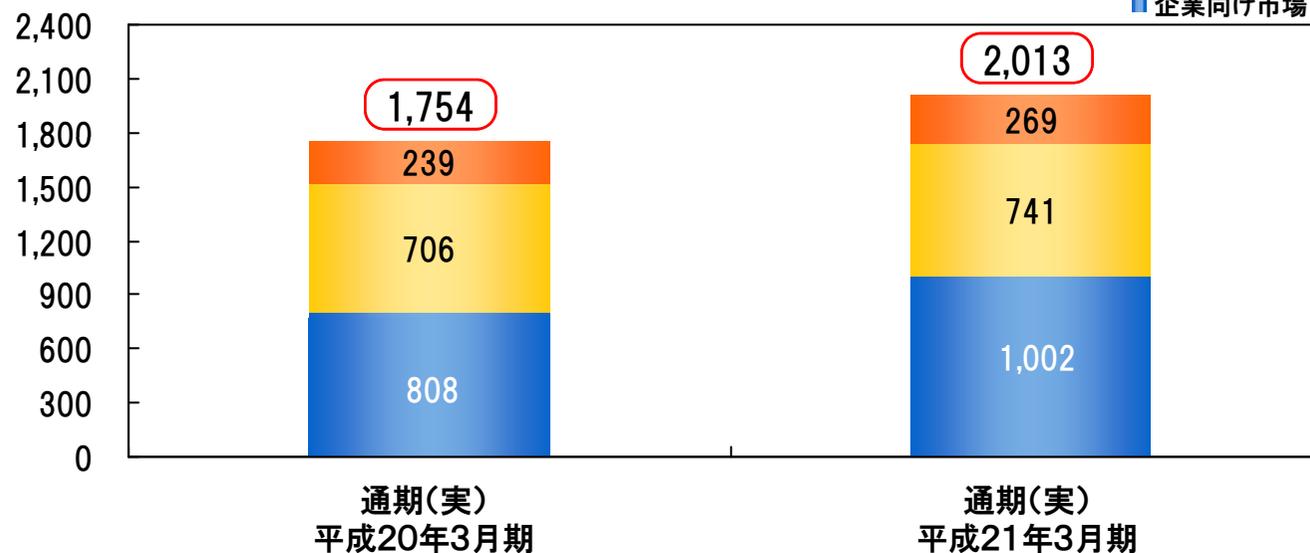
(単位:百万円)

連結	平成20年3月期	平成21年3月期			
	通期(実)	通期(予)	通期(実)	対前年同期 増減率	対予想 増減率
企業向け市場	808	1,012	1,002	24.3%	△0.9%
公共向け市場	706	746	741	4.8%	△0.6%
家庭向け市場	239	271	269	12.4%	△0.5%
合計	1,754	2,030	2,013	14.8%	△0.8%

(単位:百万円)

## 市場別売上高の推移(連結)

- 家庭向け市場
- 公共向け市場
- 企業向け市場



# 平成21年3月期 通期市場別売上高(連結) -売上高区分後-

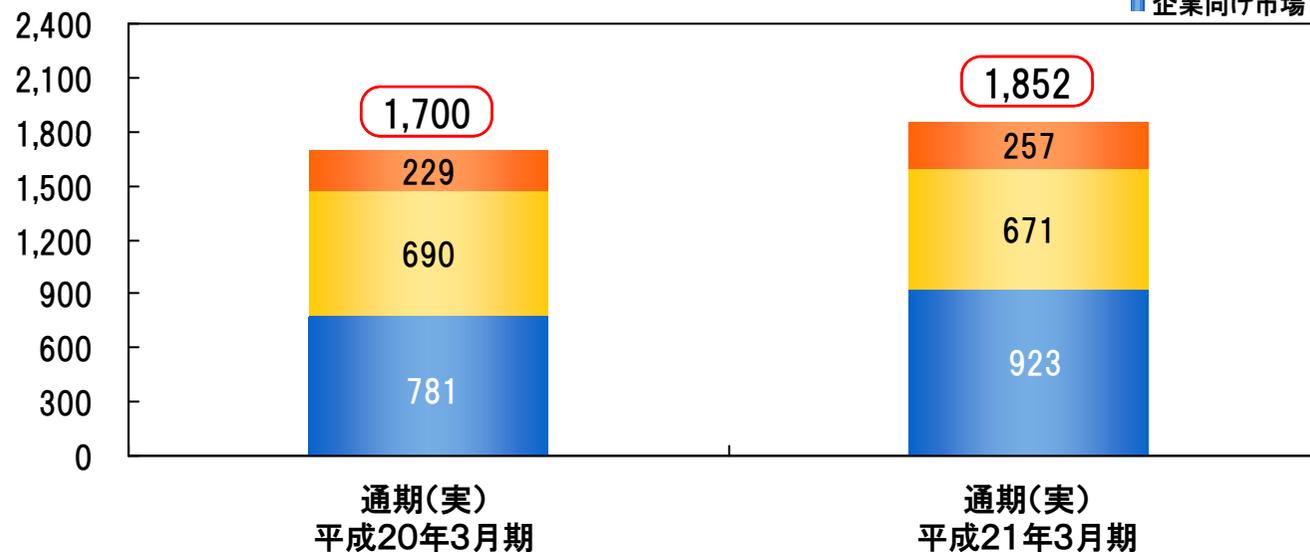
(単位:百万円)

連結	平成20年3月期	平成21年3月期			
	通期(実)	通期(予)	通期(実)	対前年同期 増減率	対予想 増減率
企業向け市場	781	935	923	18.2%	△1.3%
公共向け市場	690	679	671	△2.7%	△1.0%
家庭向け市場	229	255	257	12.4%	1.1%
合計	1,700	1,870	1,852	8.9%	△0.9%

(単位:百万円)

## 市場別売上高の推移(連結)

- 家庭向け市場
- 公共向け市場
- 企業向け市場



# 平成22年3月期業績予想

<平成21年4月1日～平成22年3月31日>

---

*DigitalArts.*

# 平成22年3月期 通期業績予想サマリー(連結P/L)

平成22年3月期連結売上高(保守サポート売上高区分後)は、  
**20億4千万円**(対前年同期増減率約10%)、**経常利益は6億3千7百万円**(対前年同期増減率約1%)  
 の予想です。今後、何らかの変化がある場合は、適切に開示してまいります。

(単位:百万円)

連結	平成21年3月期		平成22年3月期			
	通期(実)		通期(予)			
	保守サポート売上高 区分前	保守サポート売上高 区分後	保守サポート売上高 区分前	対前年同期 増減率	保守サポート売上高 区分後	対前年同期 増減率
売上高	2,013	1,852	2,200	9.2%	2,040	10.1%
営業利益	790	629	793	0.3%	633	0.6%
経常利益	793	632	797	0.4%	637	0.7%
当期純利益	511	350	514	0.4%	354	0.9%

注:保守サポート売上高区分前の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はプロフォーマベースのものです。  
 税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※ 保守サポート売上高区分前:販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後:保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

## 参考)平成22年3月期 通期業績予想サマリー(単体P/L)

平成22年3月期単体売上高(保守サポート売上高区分後)は、  
**20億4百万円**(対前年同期増減率約12%)、**経常利益は6億7千3百万円**(対前年同期増減率約1%)  
 の予想です。

(単位:百万円)

単体	平成21年3月期		平成22年3月期			
	通期(実)		通期(予)			
	保守サポート売上高 区分前	保守サポート売上高 区分後	保守サポート売上高 区分前	対前年同期 増減率	保守サポート売上高 区分後	対前年同期 増減率
売上高	1,960	1,805	2,160	10.2%	2,004	11.9%
営業利益	815	660	826	1.2%	670	1.4%
経常利益	819	664	829	1.1%	673	1.3%
当期純利益	544	389	553	1.5%	397	1.9%

注:保守サポート売上高区分前の売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益はプロフォーマベースのものです。  
 税金費用についても会計上の税金費用を適用しております。

※ 保守サポート売上高区分前:販売した保守料売上を含む売上(プロフォーマベース)

※ 保守サポート売上高区分後:保守料売上を除いた売上(会計上の数値)

# 平成22年3月期 配当計画

## ➤ 配当について

- 株主の皆様に対する利益還元につきまして、以下の通り計画しています。

平成22年3月期の目標配当性向を連結当期純利益の約10.8%

平成22年3月期年間剰余金配当予想額を1株当たり275.00円

(単位:円)

(基準日)	1株当たり配当金		連結配当性向
	期 末	年 間	
平成21年3月期(予定)	272.00	272.00	10.7%
平成22年3月期(予想)	275.00	275.00	10.8%

## 記述に関するご注意

本プレゼンテーション資料に記載されている計画、戦略、財務的予測のうち歴史的事実でないものは、将来の見通しに対する記述であり、当社経営陣が現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、環境等の変化により大きく見通しの変動する可能性があります。今後、何らかの変化がある場合は、適切に開示してまいります。

本プレゼンテーションの基本的な数値の記載は、一部を除き百万円未満を切り捨てて表示しております。

デジタルアーツ/DIGITAL ARTS、アイフィルター/i-フィルター/i-FILTER、m-FILTERは デジタルアーツ株式会社の登録商標です。



**より便利な、より快適な、より安全な  
インターネットライフに貢献して行く**

**[www.daj.jp](http://www.daj.jp)**